

いづみ建設の今年夏は

夏もすっきり爽やかで いこう!

いやあ、やってきましたー夏です！
 最高記録を記録してからのというものの、熊谷の夏という特別な気分になるのは自分だけでしょうか。日本のいろいろな場所に親戚や知人などがおりますが、この時期連絡を取ると「熊谷の季節がやってきたねえ・・・」なんて言葉をよく頂きます。うれしいのやら複雑な気分にもなりますが、日本一の何かがあるというの、何はともあれ、名を通すという意味では大切なことだと思えます。
 あとは、自然の恵み(?)で全国区となつていこうという地域として何をやるかです。日本は人口がこれから減少していきますから「この地域に住みたい」という何かを打ち出していったら、そういう面で全国区にしていけないとすもんね。いづみ建設もこの荒波の時代に、住環境の創造を通してそこに貢献できるよう頑張ります!!

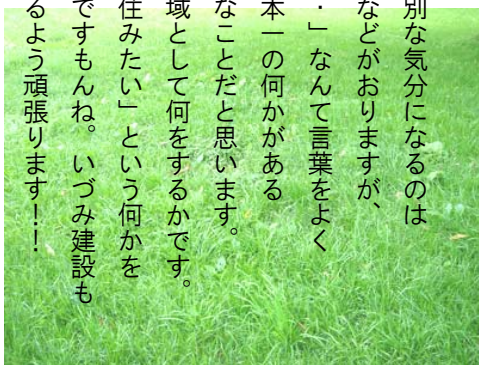
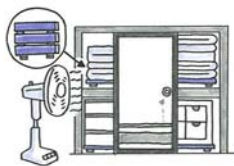
和室「集ぐ」カビをさげよう

和室は、自然の素材で造られることが多いので、カビが生えやすい場所でもあるのかもしれませんがね。たとえば、押入れ、畳などは、家の中でも水周り(お風呂、洗面、トイレ、キッチン)の次に注意する場所ですね。
 では、それぞれの手入れの仕方を改めてチェックしましょう。まずは押入れから!

●押入れ!!

湿度がこもる場所なので換気が一番の対策。押入れは空気の流れがなく、湿度がこもりやすいため、カビや結露が発生しやすい場所。汗を吸いこんだ布団をそのまましまひこむと。。。とにかくコマ目に換気をすることです!

天気が良い日には戸をあけて風を入れたり扇風機などで人工的に風を送るのもよいでしょう。もちろん、たまには中のものを全部出して掃除することも必要です。そもその換気性を上げるために、すのこを下に敷いてから布団などをしまつ方もいらつしやいますね。あと、自分は使ったことはありませんが、ホームセンタ



ーなどで売っている「押入れ結露防止シート」なども重宝するようです。

●畳!!

畳はそれ自体がカビの栄養源です。だからと言って、畳をなくしてくれとは言いません。私も畳大好きですので寝室も畳にしているくらいです。家の使い方の関係で畳の上にカーペットを敷いている場合は、カビが発生する確率が「大」です。ご注意を!

さて手入れの仕方ですが、乾拭きはカビの胞子をまき散らすだけなのでこの場合禁止行為ですね。カビ取り剤を染み込ませ、拭き取りましょう。あとは消毒用アルコールで拭いておけば、殺菌と消毒ができ予防にもなります。



そんなわけで、今年の夏もすっきり爽やか!住まいは私たちの行動の起点ですからね。住まいを清潔に保つことこそ、私たちが日常を気持ちよく過ごす秘訣なのかもしれませんね。

火災報知機設置は義務です

●新築、既存住宅の設置が義務化されています!
 以前もいづみだよりで告知致しましたが、平成18年6月1日の消防法改正により、全国一律に住宅用火災報知機等の設置が義務付けられています。全国的に住宅火災による死者が急増しており、特に犠牲者の方の大半が65歳をこえる高齢者となつていそうです。

就寝中に火災が発生して発見が遅れ、逃げ遅れて犠牲者がでるケースが多いとか。就寝に使用する部屋に、火災警報器設置を義務付けることで、人命と財産を守ることを目的とした改正という訳です。
 あつ、改正以降、お引き渡しした家はちゃんといづみ建設で設置しているのでご安心を!でも10年たった頃の電池交換は忘れなく。

●意外と簡単に設置できます!

電池式の火災報知機は一個3000~5000円くらい。電池式といってもちゃんとしただと10年もちます。ホームセンターやネット通販で入りますが、熱感知タイプではなく煙感知タイプをお勧めします。熱感知を設置しても、熱が天井に届いている頃にはダイブ火も広がっているかと。。。ニツタンのこのタイプ等いいかもしれません。アマゾンで3980円。設置も簡単ですが、次のこととはしっかりと押さえます。



●住宅火災報知機の設置と維持、誰の義務なのか?

・住宅の所有者、管理者、占有者。

●設置場所

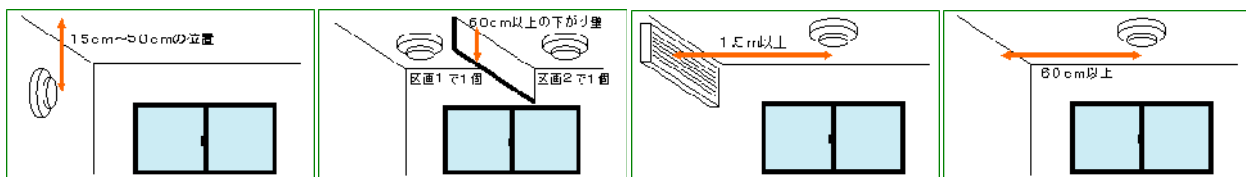
●普段「就寝に使われる全ての部屋」

- ・寝室がある階の階段
- ・3階建以上は寝室がある階の2つ下の階の階段
- ・寝室が1階にある場合は最上階の階段
- ・寝室を除く部屋(床面積7㎡)が5部屋以上ある階の廊下

台所は努力義務になっていますが、県や市町村で独自の条例を設けているところもありますので各行政でご確認を。ホームページでも見ることができま

うになっている行政区もあるようです。

●設置要領



壁や梁から60センチ以上離す。

空調等の吹き出し口から1.5m以上離す。

壁面に取り付ける場合は天井面下15センチから50センチまでの範囲で。

同一居室でも60センチ以上の下がり壁がある場合、1区画とし1個設置する

簡単にまとめるとこんな感じで、つらつらと伝えさせて頂きましたが「自分ではちよつと。。。。」という方は弊社まで。お安く設置します!自分の命は自分で守りましょう!

発行いづみ建設株式会社
 〒360-0813 熊谷市円光1-1-33
 TEL 048-521-3313
 http://www.izumi-kensetsu.co.jp
 発行日平成21年6月29日